



今月のシーニック・バイウェイ



豊後くろしおライン

豊後くろしおラインは、米水津と蒲江を結ぶ道路です。沿線には「空の公園」「空の展望所」「空の地蔵尊」「幸せの鐘」などがある、見晴らしの良いドライブルートです。今の季節は、新緑と花と空の色のコントラストがきれいですね。

地域資源（宝）の紹介コーナー



地域で活動する人



◆佐藤 敏博(サウ トシロ)さん

～西野浦代表区長～

昭和56年9月、「健康で明るい活力ある町づくり」を目標に西野浦区長会を中心にして「西野浦の明日を考える会」が結成されました。早速、日豊海岸国定公園最南端に位置する「仙崎山の自生ツツジ」を中心とした公園化を目指し、群生するフジツツジの手入れと遊歩道整備の取組みを開始しました。活動の中でフジツツジを中心とした祭りを開催しようという気運が高まり、「仙崎公園つつじ祭り」の開催へとつながりました。その活動中心メンバーに佐藤さんのお父様がいました。今では、西野浦の春の恒例イベントとして定着しています。



佐藤 敏博さん

佐藤敏博さんは、「西野浦の明日を考える会」の活動を引き継がれ今年の「第34回仙崎公園つつじ祭り」では、新たにもち投げやお楽しみ抽選会などを取り入れさらに大分、延岡のTV局や新聞社などを通じ「仙崎公園つつじ祭り」の盛り上げに尽力されました。

また、平成29年度に蒲江の小中学校が統廃合されるにあたり、各浦地区で開催していた体育祭が廃れてしまうのではとの地域の声に危機感を持ち、「西野浦の明日を考える会」の活動として新たに佐伯市民体育祭(西野浦地区)合同開催の実現に奔走しました。

ご趣味は、奥様と行くカラオケで十八番は小田純平の「恋月夜」。毎年、延岡市門川町で開催されるカラオケ発表会に参加し十八番を披露しているそうです。

今後の抱負:「”今を楽しく生きる。”をモットーにこれからも、区長として地域のお世話を続け、地域に暮らす人たちの住みよい環境づくりに微力ながら取り組んでいきたい。」と、熱く語っていただきました。



自然・景観資源



◆洲の鼻の海浜植物群落(佐伯市蒲江)

蒲江ICから車で10分、その後定期船で10分

屋形島は、蒲江湾に浮かぶ周囲6km、最高点199mの島で周囲には珊瑚礁が見られます。島の西側にある洲の鼻から南は砂浜となりハマユウの大群生地がありましたが、防波堤の影響で海浜が浸食され、その姿を変えてしまいました。また、海岸保全のための工事により多くのハマユウが失われたのは残念です。



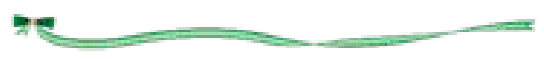
洲の鼻の海浜植物群落

ハマユウは、ビロウやアコウに比べるとさらに北まで分布していますが、佐賀関・佐田岬の線で切れます。九州は佐賀関高島までです。ハマユウもビロウ、アコウとともに豊後水道域が北限となっている植物です。

(旧蒲江町教育委員会「蒲江町の文化財」より)



食



◆赤ウニ（佐伯市蒲江）



赤ウニは、東京湾以南九州まで生息する温帯性のウニです。

ムラサキウニと比べて水深が深く礫の広がる所や、転石帯の岩石などの下に潜り込んで生息していることが多く、真横から見ると殻を上下に押し潰したように平たく扁平な形をしているのが特徴です。

トゲは細くて短く、色は名前の通り赤褐色ですが、なかには淡紅色や紫色のものもあります。

これから夏にかけて旬を迎え、旬の赤ウニは、あっさりとした上品な味わいで非常に美味で寿司ダネとしても優れています。

◆「うみウララ地どれ海幸丼」フェア開催（延岡市 北浦、南浦、島野浦地区）

ひむか遊パークうみウララエリアでは、4月27日（金）～6月30日（土）の間、「うみウララ地どれ海幸丼」フェアを飲食店7店で開催しています。7店を食べ歩ける楽しみを目指して各店毎にネタや味付けに変化をつけており、港町ならではの新鮮な素材を豪快な「丼」でご堪能下さい。



報告

◆宮野浦八十八ヶ所大師祭

毎年、旧暦の3月21日に「宮野浦八十八ヶ所大師祭」が北浦町宮野浦地区で開催され、地区内の88ヶ所の札所に毎年多くの参拝者が訪れます。参拝者には地区婦人会の皆さんが赤飯やお茶のお接待を行います。

今年はゴールデンウィーク最終日の開催となり、天候には恵まれませんでした。例年よりも多くの参拝者が訪れました。参拝者のご多幸を祈念いたします。



報告

◆「道の駅かまえ GWイベント」

ゴールデンウィーク後半の5月3日～6日の期間中、「道の駅かまえ」でイベントが開催されました。

期間中は天候にも恵まれ、「海の生き物とふれあえるタッチプール」や「旗取り競争」、「ハマソウとじゃんけん」などの催し物が開かれ家族連れを中心に賑わいました。訪れた人たちは、「九州・山口道の駅満足度ランキング1位」に輝いたレストランで、海の幸をふんだんに使用した海鮮丼を中心に蒲江の食に舌鼓を打ちました。



シーニック・バイウェイとは：

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる141のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。



日本風景街道

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先



日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)

tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課

tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課

tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489